



第562号

公益財団法人 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会  
〒102-0075 千代田区三番町2  
電話 03 (3261) 6700  
FAX 03 (3261) 6712



http://www.boen.or.jp  
郵便振替口座 00140-2-42556  
編集人 榊枝 宗男  
発行人 杉本 順則

5月29日厚生労働省主催の令和5年度拝礼式が、初めて佳子内親王殿下のご臨席を仰ぎ、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて厳かに執り行われた。墓苑六角堂墓前には天皇皇后両陛下下賜の大王冠が飾られ、遺族約

# 令和5年度拝礼式に佳子内親王殿下がご臨席。新たに235柱を納骨



墓前へ進まれる佳子内親王殿下と加藤厚生労働大臣

130名、岸田総理大臣をはじめ、衆参両議院議長、関係各省大臣、駐日関係各国大使、厚生労働委員、各政党代表、関係団体代表、遺骨帰還事業協力者等約420名が参列した。式典は小雨降る中、定刻午後零時三十分、佳子内親王殿下が御臨席になり式典が開始された。皇宮警察音楽隊の演奏による国歌「君が代」吹奏に始まり、加藤勝信厚生労働大臣の式辞、引き続き納骨の儀が執り行なわれ、厚生労働大臣が社会援護局長から手渡されたご遺骨を奉持して六角堂内の納骨室に収めた。今回納骨されたご遺骨は硫黄島及びロシアにおいて収容され帰還された235柱であった。今回の納骨により当墓苑には累計370、485柱のご遺骨が奉安されたことになる。式典は納骨の儀の後、参列者全員が起立するなか佳子内親王殿下が墓前に進まれ御拝礼が行われた。内親王殿下の御拝礼に合わせて参列者一同が拝礼し、戦没者のご冥福をお祈りした。御拝礼の後佳子内親王殿下は参列者一同のお見送りするなかご退席になられた。その後、岸田内閣総理大臣を始めとして、武井外務副大臣、山田環境副大臣、小野田防衛大臣政務官らが大臣代理として、また在京のカザフスタン、ニュージーランド、パラボ、パプアニューギニアの各特命全権大使、各政党代表、日本遺族会、遺族代表等の献花が行われ最後に厚生労働大臣が献花し、式典は午後一時滞りなく終了した。この間、皇宮警察音楽隊の演奏する「慰霊の曲」、「慰安する」、「悲しみ越えて」の3曲が式典をより厳かなものとした。その後参加者全員の参拝が行われ、令和5年度拝礼式は終了した。



加藤厚生労働大臣式辞

本日ここに、佳子内親王殿下の御臨席のもと、戦没者御遺族及び来賓各位の御参列を得て、千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式を挙げるに当たり、一言御挨拶申し上げます。苛烈を極めた先の大戦において、数多くの方が祖国を思い、愛する家族を案じながら、戦場に斃れ、あるいは戦後、遠い異郷の地で命を落とされました。今日の我が国の平和と繁栄が、戦没者の皆様の尊い命と、苦難の歴史の上に築



岸田総理大臣の献花

## 令和5年度千鳥ヶ淵戦没者墓苑 拝礼式厚生労働大臣式辞

現在、戦没者の遺骨収集の推進に関する法律に基づき、平成28年度から令和6年度までを遺骨収集の集中実施期間として、取り組んでおります。遺憾ながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度から令和4年度までの間は海外における事業を計画どおりに実施できませんでした。現在では、海外での遺骨収集事業を再開しております。引き続き、諸外国の関係者の方々や、外務省、防衛省等の関係省庁、日本戦没者遺骨収集推進協会をはじめとした多くの皆様の、一層の御協力をいただきながら、未だ各地に眠る戦没者の御遺骨が一日も早くふるさとに戻られるよう、全力を尽くしてまいります。本日、この式典に当たり、改めて、先の大戦から学びとった多くの教訓を深く心に刻み、その記憶を風化させることなく次の世代に継承し、世界の恒久平和と繁栄に、能う限り貢献していくことをお誓い申し上げます。終わりに、戦没者の御霊の安らかならんことを、そして、御遺族の皆様の御平安を切に祈念し、また御参列の皆様にご感謝申し上げます。令和5年5月29日 厚生労働大臣 加藤勝信



皇宮警察音楽隊



拝礼中の佳子内親王殿下



拝礼式出席の各県遺族会の皆様









「かけがえのない日本、かけがえのない世界②」  
私のかけがえのない宝物

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
村山かおり

国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、私の宝物的存在です。私は、平成19年大学生の時代から墓苑の参拝者に対してのお手伝いをさせていただいていますが、参拝者との挨拶からはじまる一日が幸せだと感じます。そして、日本のために遠い海外で戦い亡くなられた戦没者の皆様のおかげで今の平和な日本があり、そう考えると、墓苑では祖父母や曾祖父母に温かく守られているような安堵感があり、何より落ち着くことが出来る場所だと思っております。

JYMA日本青年遺骨収集団に平成16年から所属し、遺骨収集活動では、沖繩をはじめバロフスク州、クラスノヤルスク地方、ガダルカナル島への収集派遣に参加させて頂きました。ご遺骨を初めてお迎えした時の衝撃は、今でも忘れられません。それは初めての参加であった沖繩自主派遺骨の最終日のことです。初参加ということもあり、先輩、ご遺族の方からご指導を賜ったものの手探り状態でありました。自分自身で、どのようにしたらご遺骨をお迎えできるか考えました。当時の状況を私なりに考えて、戦闘員であれば、この場所に身を潜めるのではなにかと予測し、木の根っこ周辺を模索していたところ、大腿骨の上部を見つけたことが本当に良かったと安堵しました。このように大学時代に遺骨収集に従事させて頂いたが、ご遺骨をお迎えすることは一つの手段であり、今後どのようにして顕彰していくべきかを考えました。その時、「国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑」を知り、当時の奉仕会理事長にお会いし、専従員として温かく迎えて下さったことをこの場をお借りして御礼申し上げます。最後に、戦没者のお陰で今日があることに感謝して、今与えられた仕事に心を込めて頑張りたいと思います。

「かけがえのない日本、かけがえのない世界③」

佐司和俊

私は、昭和32年9月生まれの64歳(注：寄稿当時)です。昨日靖國神社及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑に参詣しました。神社で警備に当たっていた方や、墓苑で仕事を執られていた方に大変親切にして頂きました。どうも有難うございました。振り返って見ると、幼少のころは、まだ日本は今に比べると貧しかったような気がします。今はダイエツト食品とされる焼きたちは誕生日でないと食べられないものでした。その後先達のご奮闘もあり昭和の後半はどんどん豊かになることができ、今日に至ったと認識しています。

この時期日本が経済成長に邁進できたのも、帰する所、平和が続いていたからだと思います。現在メディアで食べるものがない子供たちが多数いることを目にします。これらの多くは内戦や国境紛争が生じている地域で発生しているに気づきません。これらの争いが少なくなれば、飢える子供もそれだけ少なくなるはずですが。私の父は当時「満州」と呼ばれた地域で兵役に就いていました。終戦後シベリア抑留を経て、帰国しました。私が中学生だったころ、母が庭に白樺の樹を植えようとした時、真っ青になって怒り震えていたことを鮮明に記憶しています。普段戦地での話を殆どしない父でしたが、彼の地で戦友たちの亡骸をそれらの樹の下に葬ったことを想起したようです。避けることのできる戦争はしてはいけません。英霊たちにお参りして平和への誓いを新たにしたいと時でした。

戦没者への作法

榊宗男

5月29日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて令和5年度拝礼式が厳かに執行された。毎年この式典は皇族殿下のご来臨を得て厳粛に行われる。毎年行われる拝礼式

に關係する私は、一昔前に出席したエジプトのエルアラメイン慰霊祭を思い出す。コバルトブルーの地中海に望むエルアラメインは、第2次世界大戦の激戦地であった。1942年夏、エジプトを攻略しようとするロンメル將軍が率いるドイツ枢軸國軍が英國連邦軍により撃退され、双方で約8万名の死傷者が出た。そこは広大な砂漠地帯にあるが、北を地中海に南をカタール半島に挟まれた隘路である。この地において毎年10月ドイツ、イタリア、イギリスが持ち回り、英國のメジャー首相(当時)や獨国防大臣はじめ各國首脳も参列して合同慰霊祭を盛大に行っている。特に目を引くのは、日本と同じ敗戦國であるドイツの慰霊廟だ。この慰霊廟は一边が5メートルもあり、千鳥ヶ淵戦没者墓苑と同じ六角形の建造物で分厚い石壁で囲まれた重厚な慰霊廟である。その中庭にはオリブの葉で飾られ、壁の石版には戦死した約8,000名の名前があり、中央の碑には「ドイツ國家の価値観のために勇敢にその命を捧げた將兵がここに眠る。われら國民は諸君達を永遠に忘れない」と記されている。本國から遠く5000キロ離れた灼熱のアフリカの砂漠で、毎年戦死者に敬意を払うため慰霊祭が行われ、1995年当時在エジプト日本國大使館の防衛駐在官であった私を含む各國の駐在武官50名が参列した。

わが國でも戦争の当否と戦死者への敬意は別であるとする気持ちを持つことが、戦没者への作法と信じ、また、戦没者の存在を忘れることは戦没者を二度死亡させることと同じであるとする意識を國民の一人一人が強く持つことが、今求められていると思う。



エルアラメイン ドイツ慰霊廟 (筆者左：撮影)

◎奉仕会年度会費納入者(団体・個人)(敬称略、順不同)  
(昨年度前払い分)  
福岡県借行会、荒井紀子、新井 茂、有泉まゆ子、亀山和子、亀山恒夫、佐田康昭、白坂忠良、鈴木純夫、田中延享、遠矢みち子、中川昌久  
平塚龍哉、山田フヨ、町田純一、横矢美恵子、和田勝幸  
(今年度納入分)  
全國強制抑留者協會、サンエイト企画、山口格夫、本田敏美、市野昭一、茂又武子、今井敏夫、津田 章、合原佳雄、吉田博光、富田喜代志  
後藤國夫、幸脇盛治、渋谷和久、蛭田千秋、登坂岩雄、片木敬三、須崎久美子、勝呂洋次、菊池与七、柿澤 恒、渡邊一陽、黒岩若しま、吉岡輝子  
深山明敏、中村妙子、中村節子、橋岡元徳、加藤史明、内藤忠明、國澤輝生、藤原信子、浦川陽子、田中富士雄、小沼 愛、中田勝仁  
山本由美子、福井信子、石田亜紀子、服部千里、本郷隆男、大森昭彦、長谷部邦夫、坂田鎮蔵、江頭瑞穂、和田勝幸、高梨節夫、勝浦英二代  
新井實沙子、中曾根昌一、向井市朗、塩田益也、秋葉正男、堤 将純、長田勝治、水落信和、菊地運一、二俣邦枝、富田武司、谷 忠義、本庄  
明子、新田光子、藤木千鶴子、田村 響、大石武彦、市来サツ子、宮平 優、岩崎美智子、廣瀬明美、浅川直子、村田瑞穂、横山靖之、山崎敏哉  
松浦かずみ、柴田誠悦、長澤啓子、吉川光洋、野澤直己、増田健三、柿沼典子、加藤憲一、長谷部文雄、鈴木健一、清水則廣、杉浦紀男、谷口  
敏明、嬉 昌夫、西口邦左、松下良興、原嶋宏文、山田恵美子、小松嶺生、滝川宏子、西本壽之、石野田辰夫、平田弘幸、野村太郎、鹿又論隆  
渡辺俊之、難波照子、小林弘法、豊田 陽、町田純一、田丸淑子、新井秀樹、高橋恭悦、三ツ木武、渡邊守久、永友 隆、山根 昭、佐藤直辰  
加藤桂子、臺 きよか、松尾敏一、市岡 實、松本佳代子

各団体の慰霊参拝



インドからのツアー団体40名 (5.4.18)



参拝後の千代田海洋少年団の訓練 (5.4.22)



水交会5月月例参拝 (5.5.18)



栃木県小山市間々田地区遺族会 (5.5.24)

(注) 正会員・特別会員の皆様には令和5年度から年会費を4月から翌3月までの会計年度を一年として納入頂くよう様に変更致しました。今回の変更に対応して頂いた皆様には真に感謝申し上げます。未だ納入されていない方は宜しくお願ひ申し上げます。  
尚、ご住所の変更の際には、奉仕会事務局に「一報頂ければ幸いです。」

- ◎奉納、参拝団体・参拝者(敬称略、順不同)  
比島ミランダオ島方面遺児の会、クラスノヤルスク遺族会、三島市遺族会、足立区遺族会、小山市間々田地区遺族会、法華宗(本門流)総務院、普明会教団水交会、東京葵ライオンズクラブ、廣川貞雄、廣川剛秀、木島英子、酒井治雄、秀平良子、柳澤 潔、山本勝久、峰 克弥、稲垣千秋、本名愛子
  - ◎新入会員(敬称略、順不同)  
鈴木小弥太、橋本義之、町田浩一、宮原和弘、田代正、大野広亮、越 修一、境田吉男
  - ◎参拝団体(前項以外、敬称略、順不同)  
福井県遺族会、桐生市遺族会、出雲市遺族会、龍雲寺海自遠洋練習航海部隊、インドからのツアー団体、二松学舎大学、お茶の水女子大、麗澤大学、陸自衛生学校千代田海洋少年団、喇叭伝承会、喇叭保存会
  - ◎清掃奉仕(敬称略、順不同)  
阿含宗清掃奉仕、立正佼成会千代田中央教会、櫻晴戦没者慰霊奉仕団、トイレボランティア清掃奉仕会、清掃ボランティア活動奉仕会
  - ◎献花台奉仕者(敬称略、順不同)  
古流わかば会(武藤理高、武藤理恵) 遠州流一森会(名鏡一玲、もりたももか、堀内さやか、松山一実、倉石一青) 美風池坊(西田栄舟、坂口美宝、斎藤美夕、堀祐香子)、古流松瀬流(高梨理園、佐々木理修、清水理弘、亀岡理秀、高橋厚厚、井内理琴)、柴山古流・緑山流(井上冷花)、本多冷花)、五十鈴古流一曉派(蟹江一艸、前田一寿、中山一葉、高野一郁、細田めぐみ)、古流正華道(若沢千啓、瀬下千佳代、瀬下俊太郎、若谷千絵理、若谷ユウシャ、内田裕甫、棚原もも子)、京葉古流(小浦一條、渡邊一陽、原 一志、内藤一春)
- 令和5年5月31日まで受付分を掲載、6月1日以降受付分は次号に掲載します。





麗澤大学川久保教授ゼミ (5.5.27)



比島ミンダナオ方面遺児の会 (5.4.8)



三島市遺族会 (5.4.3)

理事会・評議員会の開催



令和5年度理事会 (5.5.12)

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会は、令和5年度の第1回通常理事会を5月12日、定時評議員会を6月12日、ホテル「グランドヒル市ヶ谷」において開催した。理事会では令和5年度事業計画・予算について、又評議員会では令和4年度決算役員人事等が審議され、それぞれ承認された。役員人事等では、評議員古庄幸一氏が退任され、新たに評議員に杉本正彦氏、堀内光一郎氏が、また、理事に湖崎隆氏、中村勤氏がそれぞれ選出された。新しい人事は次のとおり。(敬称略)

- 会長 鈴木俊一
- 副会長 草刈隆郎 小池百合子
- 監事 羽毛田信吾
- 理事長 奥村明雄 林 英夫
- 常務理事 塚田 章
- 評議員 榊枝宗男 杉本順則
- 伊藤康成 宇田川剣雄
- 大西孝夫 杉本正彦
- 堀内光一郎 増田好平
- 眞野 章 深山明敏
- 望月晴文 山下輝雄
- 赤木 衛 市野昭一
- 越智通隆 小坂 敬
- 湖崎 隆 中村 勤
- 長谷川洋 原 勝則
- 武藤 彰 盛川英治
- 山越孝雄 小田原健児
- 古賀英松 竹中統一
- 藤原 博 山崎文夫
- 若松重英
- 各道府県知事 大東亜戦争
- 全戦没者慰霊団体協議会会
- 長 偕行社理事長 水交会
- 理事長 日本郷友連盟会長
- 日本遺族会会長 国民公園
- 協会会長 日本宗教連盟理
- 事長



令和5年度評議員会 (5.6.12)

墓苑便り(奉仕会だより)

- 7・8月の献花予定
- 池坊宝生流 大澤 勝風
  - 池坊宝生流 長谷川 一翠
  - 柴山古流・緑山流 濱中 冷雅
  - 日新流 小田切 博新
  - 未生流 谷口 信甫
  - 松風花道会 中川 玲水
  - 古流わかば会 落合 一文
  - 古流茂風会 武藤 理春
  - 国際華道如心流 大藤 茂風
  - 会費の納入について 若林 広峯
- 今年から5月を統一会費納入月とさせていただきますが、いまだ納入をされていない方におかれましては、お振込みをお願い致します。会費振込口座は次のとおりです。
- ①りそな銀行九段支店 店番号2774
  - 口座番号(普通) 0831949
  - 口座名義(公財) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
  - TEL03-3261-6700
  - ②郵便振替口座番号
  - 02東京0014012142556
  - 口座名義 公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
  - TEL03-3261-6700
- 各参拝団体の皆さまへ  
墓苑参拝時にお写真をお撮りしておりますが、紙面の都合上全ての団体様をご紹介することができません。何卒ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。
- 新ホームページへの移行について  
現在、新ホームページ開設に向け、業者とともに「より見やすい洗練されたホームページ」へと更新準備中です。今しばらくご不便をお掛けしますこと、何卒ご理解頂きたくお願ひ申し上げます。

暑中お見舞い申し上げます。令和5年 盛夏

- 中日 本 遺 族 会
- 東 本 郷 友 連 盟 社 会
- 借 本 郷 友 連 盟 社 会
- 日 本 郷 友 連 盟 社 会
- 英 霊 に こ た え る 会
- 大 東 亜 戦 争 全 戦 没 者 慰 霊 団 体 協 議 会
- 特 攻 隊 戦 没 者 慰 霊 顕 彰 会
- 水 笠 交 友 会
- 三 笠 交 友 会
- 靖 國 友 友 会
- 千 鳥 ヶ 淵 戦 没 者 墓 苑 奉 仕 会

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

- 移動採血車** 全国各地で運行している献血バスを寄贈
- ベンチ** 全国の公園緑地等にベンチを設置
- フラワープランター** 観光地の環境美化活動の推進を目的として寄贈
- 宝くじ桜** 日本全国にさくら若木を寄贈
- 車いす** 博物館利用者のために車いす等を寄贈
- 一輪車** 体力づくり実践校等に一輪車を寄贈
- バス停留所施設** バス停上屋と風防施設を設置
- すこやか広場** こどもの国(神奈川県)に健康器具や遊具を設置
- 検診車** 胃部・胸部X線撮影車として寄贈

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。日本宝くじ協会 https://jla-takarakuji.or.jp/

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。